

# 大平の**魅力**発信！

## ～地域高校生による**石仏 PR大作戦!!**～

大平郷土史研究会 代表 月ヶ洞廣己



### 事業目的



大平地区には、各所に多くの石神、石仏群が祀られているが、  
**その存在を知る人は地域住民でも少ない。**心のよりどころとして大切に守られてきた石仏を現代の人々に知ってもらうとともに、後世にも残せるよう、**その魅力を発信し地域活性化を目指す。**



各石仏に個性豊かなキャラクター設定

### 現状と目標



総合的な学習で発表する廣中さん

大平中学校では令和元年度の3年生が総合的な学習の時間において、もっと石仏に親しみを感じてもらうために個性豊かなキャラクターで表現し、大平の石仏めぐりマップを制作。その後、令和4年度3年生の廣中優美さんが**この石仏キャラクターに着目し、キャラクターをトランプしてみたい**と試作を作り、河野莉月羽（かわのりるは）さんは**得意のイラストで**

**石仏カレンダーを試作して発表**した。しかし、予算や時間の関係で中学校を卒業するまでに実現までには至らなかったが、この活動に大平郷土史研究会と当時の西井なおみ教諭（現片浜中学校教頭）も協力し、まずは予算の問題を解決するために、まちづくりファンド事業へ応募し採択を得てプロジェクトが動き出し、さらに大平連合自治会にも協賛していただき、**高校生が石仏トランプ・カレンダーを作製して大平の石仏を広く発信する計画**された。



大平コミュニティ祭で活動の発表

### 活動と成果

定期テストや学校行事など忙しい合間をぬって作業をすすめて、石仏トランプとカレンダーが無事に完成することができた。その後、大平幼稚園・保育園・小学校・中学校をはじめ、沼津市内全体の小・中学校にも石仏トランプとカレンダーを贈呈をした。これにより、沼津市全体の小・中学校にも大平の石仏を知ってもらえるきっかけができ、「静岡新聞」や「絵物語めまづ昔ばなし大平南蔵きつね」でも活動が紹介されて**大平地区の石仏発信に大きな貢献**となった。振り返りの課題として、この活動がこれで終わってしまうのではなく、継続できる仕組み作りが必要で現状ではできない。



大平小学校で贈呈のようす



静岡新聞にも取材・掲載されました



絵物語「大平南蔵きつね」

